

科目名	人文地理学			担当教員	森田 匡俊	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED3SGG302
期待される学修成果	基礎教養 教科教育					
アクティブラーニングの要素	グループワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	現代社会における都市問題，人口問題，経済格差，環境破壊といった諸問題を地理学の方法論から読み解く術を身に付けることを目標とする。					
授業の概要	人文地理学は，人間の活動に関係する出来事について「空間的に考える」学問である。本講義では，まずは人文地理学に重点を置きつつ地理学の学問体系や主要概念について学ぶ。つぎに人文地理学の主要概念である「立地・配置」に焦点をあて，現実社会の諸問題を読み解く術を学ぶ。最後に，実例を題材にした地理的視点からの意思決定作業にグループ単位で取り組む。 【デジタル技術利用 該当番号：①、④】					

授業計画	
第1回	ガイダンス・地理学とは・人文地理学とは
第2回	立地論
第3回	日本の工業・産業立地 1（戦前～高度経済成長期）
第4回	日本の工業・産業立地 2（高度経済成長期～現在）
第5回	流通業の立地メカニズム
第6回	交通網の発達メカニズム
第7回	避難場所の配置・避難行動の地理的考察
第8回	地域理解に基づく意思決定 1（時空間的制約）
第9回	地域理解に基づく意思決定 2（経済・社会的制約）
第10回	地域理解に基づく意思決定 3（多様な立場からの評価）
第11回	地域発展のための意思決定 1（時空間的制約）
第12回	地域発展のための意思決定 2（経済・社会的制約）
第13回	地域発展のための意思決定 3（多様な立場からの評価）
第14回	地理学的視点による意思決定の課題と意義
第15回	学修到達度の確認試験および解説と授業全体の総括

事前学修	2時間	授業時に提示する課題に取り組むこと。数回，グループになって取り組み，講義内で発表する課題を出す。グループメンバーで協力して準備に取り組むこと。
事後学修	2時間	授業時に提示する課題に取り組むこと。数回，グループになって取り組み，講義内で発表する課題を出す。グループメンバーで協力して準備に取り組むこと。
フィードバックの方法	レポートや小課題の結果について，講義内で紹介しコメントする。個別の質問には随時コメントする。グループ発表については，発表翌週にコメントし，総合評価を説明する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	20%	個人で取り組む課題の提出内容について評価する。
レポート	30%	グループで取り組む課題の発表内容について評価する。
上記以外の試験・平常点評価	50%	学修到達度の確認試験等により評価する。

定期試験		0%			
補足事項		数回，グループになって取り組み，講義内で発表する課題を出す．グループメンバーで協力して準備に取り組むこと．			
教科書					
書名		著者	出版社	ISBN	備考
適宜紹介する．		適宜紹介する．	適宜紹介する．	適宜紹介する．	適宜紹介する．
参考資料		適宜紹介する．			